

# 写真で見るつるおかの今昔

鶴岡の風物や人々の暮らしについて、昔の写真と今の姿を比較しながら、その歴史をひもときます。

## 第6回 大鳥地区に繁栄をもたらした

## 大鳥・大泉鉱山



▲大泉鉱山寿岡選鉱場（昭和30年頃）



▲寿岡選鉱場跡遠景



▲大鳥鉱山機械場（大正8年）



▲寿岡選鉱場跡



▲鉱山碑の下にある鉱石

「飯が食えなくなったら山を掘れ」かつて、大鳥にはこのような言い伝えがあったそうです。享保二年（一七一七）に西大鳥の三浦七郎左衛門の祖先が金鉱を掘り当てたという伝説から、明治十四年に黄金村の後藤氏等が鉱脈を突き止め、大鳥の鉱山の歴史は始まりました。

三十八年には古河鉱業(株)所有の「大鳥鉱山」として操業を開始。主に銅・鉛・亜鉛が採掘され、第一次世界大戦による銅価格の高騰で、鉱山は全盛を迎えます。しかし、大正七年一月二十日未明、百五十四人も命を奪う大雪崩が発生。加えて終戦による銅価格の暴落によつて、十一年に一時的閉山します。

それから十五年後の昭和十二年大日本鉱業(株)が鉱区を取得。「大泉鉱山」として復活を遂げました。柘形地区に採鉱場、寿岡地区に選鉱場が建設され、第二次世界大戦や朝鮮戦争による金属需要の増加で隆盛を極めます。三十年代には、年間五万トンを超える出鉱量を誇りましたが、四十年代以降、出鉱量の低下や外国産の安い鉱石の流入等で経営が悪化。五十四年に大泉鉱山は閉山し、約一世紀にも及ぶ大鳥の鉱山の灯は消えました。大鳥地区繁栄の象徴であった鉱山。現在は寿岡選鉱場跡にその面影を見るのみとなっています。

■問合せ 朝日庁舎総務企画課 ☎ 53・2111

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所 ☎ 997-8601

(メールアドレス) tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp  
(ホームページ) http://www.city.tsuruoka.lg.jp  
(フェイスブックページ) https://www.facebook.com/tsuruokacity  
(窓口受付時間) 月曜～金曜日(祝日・年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分

藤島庁舎 ☎ 999-7696  
羽黒庁舎 ☎ 997-0192  
櫛引庁舎 ☎ 997-0346  
朝日庁舎 ☎ 997-0492  
温海庁舎 ☎ 999-7205

山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎ 0235-25-2111 FAX 0235-24-9071

市内藤島字笹花25 ☎ 64-2111  
市内羽黒町荒川字前田元89 ☎ 62-2111  
市内上山添字文栄100 ☎ 57-2111  
市内下名川字落合1 ☎ 53-2111  
市内温海戊577-1 ☎ 43-2111

→メールは  
こちらから



→ホームページは  
こちらから



《人口と世帯》(平成28年10月31日現在)  
住民基本台帳人口合計：130,359人  
(男：62,191人、女：68,168人)  
世帯数：48,628世帯